

対 象	研 修 名	研 修 目 標	講 師	日 時
レベル 1	*新人看護職員対象：入職時研修	*看護部の一員として自己の役割を果たすために必要な知識・技術を習得する	別紙 「研修内容」参照	4月6日(木)7日(金) 10日(月)
	*感染予防対策 I	*当院の標準予防対策、経路別予防対策を理解する *標準予防対策を実施できる	認定看護師 井上師長	4月13日(木) 9:00~12:30
	*医療安全管理 I 「事故防止・事故発生時の対応」	*事故防止のための基準・手順・マニュアルを理解する *事故発生時に適切な行動ができるように院内規程を理解する	医療安全管理者 三浦(淑)師長	4月14日(金) 9:00~11:00
	*安全確保の技術 転倒・転落予防	*転倒転落の発生機序と当院の予防対策を理解する *当院の転倒・転落のアクシデント事例と分析結果を知る	医療安全管理者 三浦(淑)師長	4月14日(金) 11:00~12:30
	*診療情報管理 I 「看護記録」	*看護記録関連の規程から看護記録とは何かを理解する *看護実践を証明するための記録をどう書くか理解する	記録委員長 清水師長	4月14日(金) 13:30~15:00
	*災害時の対応	*火災・地震・停電などの災害時にリーダーの指示を受けて行動できる	基準委員長	4月14日(金) 15:00~16:00
	*注射の基本 (皮下・皮内・筋肉内注射・静脈血採血) *輸液の管理 *輸液ポンプ・シリンジポンプの取扱いと管理 *検体の取り扱い	*安全に注射を行うための知識・技術を習得する *輸液ポンプ・シリンジポンプを正しく操作するための基本的知識、技術を習得する *輸液療法が正確に実施されるために必要な知識・技術を習得する	教育担当者 教育責任者 検査課技士長 臨床工学技士長	4月20日(木) 9:00~17:00 21日(金)2日目は 12:30時まで
	*正しい薬品・血液製剤の取り扱い	*麻薬、危険薬、血液製剤を正しく取り扱うための知識を習得する	斉藤薬剤師 輸血療法委員会 岩下師長・堀井係長	4月21日(金) 13:30~15:30
	*糖尿病の病態生理・治療・看護	*糖尿病の病態生理・治療・基本的看護を理解する *血糖補正の目的と方法について理解し安全に実施できる	糖尿病療養指導士 5A 遠藤係長	4月21日(金) 15:30~16:30
	*フィジカルアセスメント I 「対象の身体を診る」 注) 教育担当者も受講、各部署で伝達講習実施	*対象の疾患の病態生理・主な治療法・看護などの知識を活用し、フィジカルアセスメントができる	ICU 堀江係長 OP 今野係長	4月24日(月) 9:00~12:30
	*赤十字と看護倫理 I 「基本原則の理解」	*倫理的ジレンマに陥ったときに活用するために、看護者の倫理綱領と赤十字の基本原則について理解する	高橋看護副部長	4月24日(月) 13:30~16:00
	*NANDA 看護診断	*NANDA看護診断の基本を理解する	記録委員会	5月11日(木) 9:00~17:00
	*摂食・嚥下障害の看護	*患者が安全に食事摂取できるように、患者の食べる機能をアセスメントし、適切な食事援助方法を選択できる	4A 畠山係長 4A スタッフ	5月15日(月) 9:00~15:00
	*口腔ケア 「摂食・嚥下障害改善、合併症予防」	*口腔ケアの目的を理解する *最新の口腔ケアの技術を習得する	ICU金澤看護師 5A 遠藤係長 6B 藤原係長	
	*心電図モニター (12誘導含む)	*心電図、心電図モニターの特性を理解し記録することができる *生命に関わる重症不整脈を理解する	4B 小松係長 4B スタッフ	5月25日(木) (昼休みを挟む) 9:00~17:00
	*気管内吸引 *導尿・尿管留置 NEW	*根拠に基づいた安全な気管内吸引ができる *根拠に基づいた安全な導尿・尿管留置ができる	6A 牧野係長 スタッフ 5B 齊藤係長 スタッフ	
	*急変時の対応	*救急カート内に整備しておくべき備品が分かる *急変時の自分の役割が分かる	専門 NS 小笠原看護師 救外佐川係長 ICU 堀江係長 7HCU 柴田係長	5月30日(火) 9:00~16:00
	*気管内挿管の準備と介助	*気管内挿管の準備と介助が出来るよう知識・技術を習得する		
	*ローテーション研修 オリエンテーション	*ローテーション研修の内容を理解し、研修に必要な事前準備ができる	ICU (HCU) /救外 /手術室 教育担当者	5月30日(火) 16:00~17:00
	*リフレッシュ研修：PART I	*自分自身の思いに気づくことができる *他者の思いを知る *今後、自分がどのように行動したらよいか考えることができる	各部署 教育担当者	5月26日(金) (日程は別途配付)
*人工呼吸器の取扱い	*人工呼吸器を使用する患者の人工呼吸管理を安全に行うために器械の特性と取り扱い上の留意点を理解する	臨床工学技士 教育責任者	6月8日(木) 14:00~16:00	
*スキンケア 最新の褥瘡ケア (皮膚・排泄ケア)	*最新の褥瘡ケアの知識・技術を習得する *適切なテープ、被覆材の選択とスキンケアの方法を理解する	認定看護師 小松係長 褥瘡委員	6月16日(金) 13:30~16:30	

	* 静脈注射レベル1～3 注：レベル3は末梢静脈注射留置針挿入まで実施する	* 静脈注射の実施基準を理解する * 静脈注射の実施基準に沿って安全に実施できる * 各レベルの実技試験に合格する	各部署の 教育担当者	7月28日(金) 確認試験 (9月8日実施)
	* 必須 OJT 各部署で企画した学習会に出席し 学習することがレベルIの認定条件	* 部署における代表的な疾患の病態生理・治療・看護について理解 し活用できる	(講師の条件)レベル II以上の認定者	各部署で7月までに 実施すること
	* 看取りのケア	* 亡くなられた方の尊厳を守りながら死後のケアが適切にできる * 亡くなられた方の重要他者の気持ちに配慮したケアができる	7B 堀井係長 6B 藤原係長 産科 富樫係長	8月4日(金) 13:30～16:30
	* 包帯法	* 包帯法の目的を理解し、対象にあった方法で実施する知識・技術 を習得する * 包帯法実施中の対象の安全・安楽を管理できる	健診 佐藤係長 5B 齋藤係長 5A 遠藤係長	8月25日(金) 13:30～16:30
	* リフレッシュ研修 : PART. II	* 同期の仲間とゲーム等しながら語らいリフレッシュする * 半年間の成長をお互いに認め合う	各部署の 教育担当者	9月8日(金) 9:30～12:30 8:30～9:30 (注射の確認試験)
	* 多重課題シミュレーション PART. I 注：静脈注射確認試験を合格・修了していること	* 夜勤業務自立向け、多重課題に取り組むことができる * 多重課題を達成するための自己の課題を明らかにする	教育担当者 教育責任者	10月5日(木) 10月6日(金) 8:30～12:00
		* 自部署で受け持ち患者に行った看護実践をもとに、半年間の自己 の看護を振り返り看護観を深める	教育担当者 教育責任者	10月6日(金) 13:00～17:00 自部署で実施
	* がん対策基本法と当院の役割	* がん対策基本法とがん診療連携拠点病院の役割を理解する * がん相談支援センター利用者の相談内容を今後の看護に活かす	患者支援センター	11月10日(金) 13:30～14:30
	* キャリア開発ラダー説明会	* キャリア開発ラダーの目的を理解し、必要な準備を行なうことが できる	教育担当者	12月1日(金) 11:30～12:30
	* 「静脈注射 レベル3」	* 化学療法(抗がん剤)、循環動態への影響が大きい薬物、麻薬の 静脈内投与を安全に実施するための知識・技術を習得する * 静脈内留置針挿入の技術を認定看護師に確認してもらい、自己の 課題を明らかにする	認定看護師 藤原看護師 高橋看護師 ：牧野係長	2月～3月 の期間に予定
	* まとめ研修 「ナラティブ発表会」	* この1年で自分の心に残っている看護の体験を語る	教育責任者 教育担当者	3月 日(水)
対象	研修名	研修目標	講師	日時
レベル2	* 社会の変化と保健医療福祉・看護界の動向 看護助手の参加可	* 看護の対象を取り巻く社会の変化を理解する * 保健医療福祉、看護界の動向がわかる * 看護を取り巻く環境の変化に関心を持つことができる	看護部長	5月25日(木)
	* 診療情報管理II 看護記録	* 看護記録の目的を理解し自身の課題を明らかにする * 客観的な記録を書くことができる * 診療情報管理について理解する * 「看護診断」について	記録委員 (レベルII以上)	6月19日(月)
	* 看護倫理II 「倫理的感受性を高める」 対象：赤十字の理念を理解している者	* 看護倫理の概要を学び、倫理的問題を客観的な視点で理解できる * 事例分析を行い倫理的問題に関心を持つことができる	倫理委員 (レベルII以上)	6月6日(火)
	* 看護とコミュニケーションII リフレクション「受容的・共感的態度」 看護助手の参加可 ・2回の研修のうち1回参加のこと	* 優れた「治療的人間関係」を構築していると他者から評価されて いる看護職員のリフレクションから学び、「治療的人間関係」構築 に必要なコミュニケーション能力を向上させることができる	ファシリテーター： 教育委員 (レベルII以上)	10月31日(火) 11月6日(月)
	* 災害看護I ・2回の研修のうち1回参加のこと (注) レベルII申請の場合、「救護員としての赤十字 看護師研修」か「災害看護I」の受講必須	1～3については各部署の管理者の講義を受けて参加すること 1 災害発生状況と看護ニーズを理解する 2 災害サイクル別の災害看護活動を理解する 3 被災者特性に応じた災害看護活動を理解する * 演習：一次トリアージの知識と技術を身につける	中川師長 富樫係長	9月6日(水) 9:30～11:30 11月8日(水) 9:30～11:30
レベル3 対象限定 レベルIII 以上を めざす人 レベルIII 以上を申請 する者は 受講が望ま しい	* 看護倫理III 「倫理的意思決定」 条件：「看護倫理II」受講済みの者 ・2回とも参加必須	* 看護倫理の概念、考え方を理解し、今までの疑問や倫理的な問題 に気づき客観的に分析できる * 分析モデルを用いて臨床の倫理問題を明確化し解決方法を見出す ことができる	新野看護副部長	6月20日(火) 月 日()
	* 看護とコミュニケーションIII 「傾聴と質問」 ・2回とも参加必須	* コーチングの概念を理解する * 同僚の能力を引き出すための手法を知る * アサーティブコミュニケーションを理解する	菊地看護副部長	5月29日(月) 月 日()
	* 保健医療福祉と診療報酬体系	* 国の保健医療福祉政策と看護関連の政策を理解する * 診療報酬体系を学び、自分達の看護に結び付けて理解する。	看護部長	7月27日(木)
	* リーダーシップとメンバーシップ ・2回とも参加必須	* 自己のリーダーシップの取り方について考える * 所属する職場の状況を分析し、課題を見出すことができる * 職場のスタッフなどと課題解決の過程を共有できる	業務委員会	5月23日(火) 月 日()

	*育てあう職場づくり ・2回とも参加必須	*今どきの若者の特性を理解する *看護基礎教育や新人看護職員研修制度について理解する *個々の理解度や学習進度に合わせた指導ができる *お互いに育みあう組織風土作りに参画できる	三浦師長	6月12日(月) 月 日 ()
	*ファシリテーター養成研修 ・2回とも参加必須	*ファシリテーターの役割を理解し、能力の向上を図る *カンファレンスや面接等の場面がリフレクションの機会となるように働きかけることができる	菅原師長 大原師長	8月22日(火) 1月18日(木)
	*災害看護Ⅱ 対象:「災害看護Ⅰ」を受講済みの者 ・2回の研修のうち1回参加のこと (注) レベルⅢ以上を申請する場合、 災害看護Ⅰ・Ⅱの受講必須	*災害サイクルに応じた看護活動について理解する *災害対応にかかわる組織・団体等との連携を理解する *災害の特性に応じた救護活動を理解する *演習:二次トリアージと外傷の応急処置の知識と技術を習得する(PAT法)	増井師長 佐藤(ゆ)係長 救急外来スタッフ	6月14日(水) 13:30~15:30 10月24日(火) 15:00~17:00
レベル4 対象限定 レベル4以上 を旨とする人	*災害看護Ⅲ 「災害時のこころのケア」 対象:「災害看護Ⅰ・Ⅱ」を受講済みの者	*被災者・被災救護者に必要なケアの知識・技術を習得する *災害時の遺体ケアや遺族の心理的状態を理解し、看護職として必要な知識・技術を習得する *DMORTを理解する	大原師長 中川師長	7月13日(木) 13:30~15:30
全看護師	*「静脈注射」レベル1~レベル2 *「静脈注射」レベル3(点滴静脈留置針挿入まで) 全看護職員必須	*日本看護協会の「静脈注射の実施に関する指針」に沿って、レベル1~3の知識・技術を習得する (注)過去にこの研修を受けていない者を対象に研修を実施する	教育責任者 医療安全管理者 教育委員師長・係長	①5月12日(金) ②11月10日(金) 8:30~12:30
	*「静脈注射」レベル3 麻薬・抗がん剤・循環動態に影響する薬剤 対象:「静脈注射」レベル1~2の研修修了者 全看護職員必須	*化学療法(抗がん剤)、循環動態への影響が大きい薬物、麻薬の静脈内投与を安全に実施するための知識・技術を習得する (注)過去にこの研修を受けていない者を対象に研修を実施する	新人看護職員研修運営委員会 認定看護師 (藤原・高橋) 6A:牧野係長	①5月18日(木) ②11月17日(金) 8:30~12:30
	*新採用・全職員対象「BLS」	*BLS=Basic Life Supportの知識と技術を身につけることができる	日本ACLS協会 インストラクター	各自で申し込み 受講する
	*看護技術を学び直そう 「清拭・排泄の援助」 NEW ・2回の研修のうち1回参加のこと	*自分がこれまで実施してきた看護技術を見直し、確かなエビデンスを持ち、安全・安楽に実施できる *看護助手と共に研修を行なう	基準委員会 健康生活支援指導員	7月7日(金) 7月19日(水) 13:00~15:00
	*認知症のある患者の看護 看護助手の参加可	*認知症の病態とその治療について理解する *認知症のある患者に適切な看護を行うために知識を修得する	認定看護師 櫻庭看護師	8月 日 () *別途案内予定
	*S-QUEオンデマンド研修	「看護研究のプロセス~日頃の疑問の根拠を探究する」	研修責任者 履歴確認	配信期間: 5月15日~6月12日
	*S-QUEオンデマンド研修	「バイタルサインとモニタリング~RRSのための管理のコツ」	研修責任者 履歴確認	配信期間: 6月12日~7月10日
	*S-QUEオンデマンド研修	「入院中の認知症の人に対する看護~様々な疾患を伴う患者さんへのアセスメントケア」	研修責任者 履歴確認	配信期間:H30年 1月29日~2月26日
	*看護研究 Part.1 「研究計画書の書き方・研究の進め方」	*次年度に看護研究に取り組むにあたり、研究の進め方を理解する *看護研究計画書の書き方を学び、次年度に行う研究計画書の作成ができる	教育責任者 (産科)児玉看護師 (救外)小笠原看護師	6月27日(火)
	*看護研究 Part.2 「テーマの絞り込み」	*これまで作成された看護研究計画書を基に、看護研究を進めるうえで改善すべきことを理解する。 *テーマの絞り込みができる	教育責任者 高橋看護副部長	9月28日(木)
	*学会報告会・看護研究発表会	*看護学会・看護研究で得た知見を看護職員間で共有し、各部署で活かす	教育委員会	9月12日(火)26日(木) 3月 日・日
	*救護員としての赤十字看護師研修 (注) レベルⅡ申請者は災害看護Ⅰに代わり 本研修の受講でも前提条件として認める	*「救護員としての赤十字看護師」としての登録・任命に必要な知識・技術・態度を習得する	担当:看護部	5月~6月 研修計画書は 別途作成・配布 救急法:(別途案内)
	*赤十字管理者 研修報告会	赤十字看護管理者研修Ⅰ () 赤十字看護管理者研修Ⅱ ()	*看護実践や看護管理に活用するため、研修参加者が学んだ知識・技術を共有する 注)今年度キャリア開発ラダー取得予定者は、いずれかに参加すること。	担当:看護部 月 日 () 月 日 ()
対象	研修名	研修目標	講師	日時
対象別	*既卒採用者のフォローアップ研修 Part.1	*既卒採用者の配属部署の適応を促進する *現在抱えている疑問、問題を解決する	教育責任者	6月7日(水) 11:00~12:30
	*既卒採用者のフォローアップ研修 Part.2	*既卒採用者の適応を確認し、今後の自己の課題を明らかにする *現在抱えている疑問、問題をお互いに語り合い、問題を解決する	教育責任者	12月6日(水) 13:30~15:00
	*既卒採用者のフォローアップ研修:必須 OJT 注)各部署で企画した「部署の特徴的疾患と治療・その看護」の学習会に入職後半年以内に出席し学習すること	*部署における代表的な疾患の病態生理・治療・看護について理解し活用できる	(講師の条件)レベルⅡ以上の認定者	各部署で行う学習会に参加すること

	*臨時・パート・短期就業者対象研修	詳細は別途案内	担当：教育委員会	別途案内
卒業後2年目対象	*フォローアップ研修 Part.1	*2年目の看護部教育計画を理解する *2年目の課題達成に向けて行動計画を立案する *「事例検討の進め方」について提示する	教育委員師長 教育責任者	4月28日(金) 13:30~16:30
	*フォローアップ研修 Part.2	*「事例検討」の進捗状況について疑問を語り合おう *自己目標についての中間評価を行なう(技術チェック表持参)	教育責任者 教育師長	8月31日 13:30~15:30
	*リーダー研修ステップ1 「はじめてのリーダー」研修	*リーダーの役割、リーダーに必要な知識・技術を理解する *リーダーシップ論について理解する *当院や部署における各リーダーの役割を理解する	業務委員師長	H30年2月15日(木) 午前10:00~12:00
	*「事例検討」Part.1	*看護理論をもとに受け持ち患者の看護過程を展開する *フィジカルアセスメントを適切に行う *事例を通して自己の看護を振り返り看護観を深める	教育責任者 教育委員会	要綱はフォローアップ研修1の時に配布
	*「事例検討」Part.2 発表会 *リフレクション～自分の看護を語る会～	*検討した事例、看護展開と実践について発表する *自己の事例検討結果と同期の発表から学んだことをもとにリフレクションし、自己の看護を振り返り看護観を深める	教育責任者 教育委員師長	H30年2月15日(木) 午後13:30~16:30
	*「到達目標」の最終評価	*到達目標の評価表(技術チェックリストも含む)を教育責任者に提出する *2年目の課題達成のための行動計画を自己評価し、次年度への自己の課題を明らかにする	提出先 教育責任者	提出締切り： H30年3月 日()
	*平成29年度実地指導者フォローアップ研修 対象：平成29年度に新人看護師のプリセプターの役割を担った者	*実地指導者として新人看護職員に行った支援を評価し、自己の課題を明らかにする *7月以降の新人看護職員を支援する行動を見出すことができる	教育責任者	5月17日(水) 7月5日(水) 13:30~15:00 *場所は福利厚生棟
	*平成30年度実地指導者研修 対象：平成30年度に新人看護師のプリセプターの役割を担う者	*来年度の新人看護職員研修の内容と自分の役割を理解する *「共に育ち合う」ことを念頭に、謙虚さを持って新人看護職員の支援ができる	教育責任者	平成30年 2月 日() *来年度別途案内
	*教育担当者研修 Part.1 新人看護師と共に学ぶフィジカルアセスメント 「対象の身体を診る」 対象：平成29年度各部署教育担当者	*対象の疾患の病態生理・主な治療法・看護などの知識を活用し、フィジカルアセスメントができることを研修目標とした新人看護師研修に参加し、部署でのOJTに活用できる *本研修について各部署で伝達講習を行い、指導者全員が統一した方法で新人看護職員・他の職員の支援ができる	ICU 堀江係長 OP 今野係長	4月24日(月) 9:30~12:30
	*教育担当者研修 Part.2	*部署の看護職員に必要な能力を明確にする *部署の教育計画・OJTを評価し、次年度に向けて見直しをする *今年度の自己の課題と次年度の新人看護職員研修における自己の役割を明確にする	教育責任者	平成30年 3月 日()
看護管理者	*昇任看護係長研修(名) (注)今年度昇任係長出席	*看護係長の職務について理解する *1年間のマネジメントの経験から、次年度に向けて看護係長としての自己の課題を明らかにする	看護管理者	研修計画書は 別途作成・配付
	*昇任看護師長研修(名) (注)今年度昇任師長出席	*看護師長の職務について理解する *1年間のマネジメントの経験から、次年度に向けて看護師長としての自己の課題を明らかにする	看護管理者	研修計画書は 別途作成・配付
	*救護員としての赤十字看護師長研修 「災害と看護管理」 (注)看護師長はレベルIIの災害看護I受講希望者に、各部署で以下について講義する。 1 災害発生状況と看護ニーズを理解する 2 災害サイクル別の災害看護活動を理解する 3 被災者特性に応じた災害看護活動を理解する (PTTあり)	*災害各期における様々な状況下での看護管理者の役割を理解する *看護管理者として災害看護に関する実践的課題と今後の展望について考察する ・部署の災害・テロ・感染等の対策の仕組みを作る ・定期的な災害・テロ・感染防止の訓練を行い、スタッフの災害看護教育を行う。	看護管理者	ラダーの指標に沿って、 部署での教育計画を立案・実践する
	*看護管理者研修 「看護管理過程」 対象：管理者ラダー未取得の看護管理者 (注)講義はありません	*自部署の目標達成に向けて、管理課題を明らかにしたうえで、PDCAサイクルを回すことを意識し課題を達成する (ラダーの指標「管理過程」も参照にすること) 看護部で配布した書籍も活用すること *全看護管理者が管理者ラダーのレベルを取得することで、スタッフのラダー申請の動機付けとなることをめざす	看護管理者	実践計画に沿って申請する
看護助手	*看護補助者対象研修 ・2回の研修のうち1回参加のこと 参加必須	*医療制度の概要と当院の組織体制と機能 *医療チームにおける看護補助者の役割と業務、業務上の責任 *患者への応対と接遇 *医療における倫理と個人情報保護法遵守 *医療安全 *感染予防管理	菊地副部長 三浦(淑)師長 井上師長	6月 1日(木) 6月15日(木) 14:30~16:30
	*看護援助技術 「清拭・排泄の援助」 ・2回の研修のうち1回参加のこと 参加必須	*看護助手として、対象に安全に援助するための技術を修得する ・看護師と共に清潔の援助を行う ・清拭・排泄の援助(陰部洗浄・オムツ交換等) *看護師と共に実施する	基準委員会 健康生活支援指導員	7月7日(金) 7月19日(水) 13:30~15:00

がん看護実践コース（対象：がん看護に関心を持っている者）

	研修名	研修目標	講師	日時
STEP 1	*がん化学療法をうける患者の看護 ・当院で実施している化学療法 ・血管アセスメント／副作用と合併症／セルフケア支援 注) 集合研修2回実施後、部署でリンクナースを中心にOJTを行なう	*院内で実施されているがん化学療法のレジメンについて理解する *がん化学療法を安全に実施するために知識・技術を身につける *がん化学療法の副作用と合併症、心身の苦痛を理解し、セルフケア支援ができるようになる ◎リンクナースの参加を必須とする	認定看護師 藤原看護師 高橋看護師 6A：牧野係長	8月1日(火) 8月10日(木)
	*緩和ケア 「がん性疼痛管理」	*がん性疼痛とは何か *がん性疼痛をコントロールするための看護の役割について学ぶ オピオイド使用に関する基本的知識・非薬物療法	清水師長	12月8日(金)
	*終末期の看護 NEW	*終末期の患者・家族の看護を学ぶ *個別性をふまえた対応を学ぶ	緩和ケア委員会	10月26日(木)
	*当院の患者支援センターの機能と活動内容	*相談支援センターに寄せられた患者、家族の意見、相談内容を自分の看護に活かすことができる *社会資源に関する知識を得て退院調整などに活用できる *がん患者の訪問看護の実際を知り、入院中の看護に活かす	患者支援センター 佐藤係長 鎌田看護師 ()	9月11日(月)
STEP 2	*「ケア提供者」の悲嘆に対するケア NEW	*ケア提供者が感じる悲嘆とは *自分自身をケアする方法を知る *自分たちのがん看護を語り、互いの悩みや思いを共有する *語りの中で得たものを自分の看護実践に活かす	ファシリテーター 認定Ns. 藤原看護師 患者支援センター () () オブザーバー 清水師長	11月28日(火)

受講にあたって必ず読んでください。

【受講にあたっての確認事項】

- ・組織において研修を実施した場合、研修評価は必ず実施します。（詳細は教育基準に記載しています）
評価方法は、教育責任者・教育担当者師長が協議し決定します。 このことを了承し受講してください。
- ・受講希望の取りまとめは、基本的に1回です。

「1年間に受講する研修を自分自身で計画するのが大人の学習です。」

1. レベル別

研修についての基本的な考え方（キャリア開発ラダーに対応した研修です）

- 1) 平成29年に新人看護師・新人助産師で採用された職員はレベルIの認定を受けてから上位のレベル認定をめざします。
- 2) 上記以外の職員は、必ずしもレベルIから申請する必要はありません。
自分がめざすレベル達成のためにレベル別研修を受講してください。（全研修の受講は必要ありません）
最初から高いレベルの研修を受講するのではなく、自分の目標達成に向けて計画的に学習してください。

2. 他の研修についての考え方

- 1) がん看護実践コースはより実践につながる研修にするために、研修対象者はがん関心を持っている看護職員です。
- 2) 対象別の研修はその対象者に参加してもらう研修です。

3. 研修の申し込みについて

部署の教育委員が受講希望者のとりまとめをしますので 4月27日(金)までに申し込んでください。

（注：やむを得ない理由により追加参加をしたい場合は、教育委員長に相談のこと）

学会報告会、研究発表会、来年実施予定など、一部の研修は別にとりまとめをします

4. 留意点

- 1) 受講申し込みをした研修には忘れずに出席してください。
やむを得ず欠席する場合は担当者に必ず連絡してください。 **無断欠席は、関係者に迷惑をかけます。**
- 2) 受講者は、自分達で研修開始前に机・椅子の準備等を行い、 時間通り研修を開始できるよう積極的に協力しましょう。

研修時間は17時15分～18時45分

自分自身の看護実践能力を向上させ、対象に合った看護を提供し

自分自身も満足感を得るため、以下のシステムを活用して主体的に学習をしましょう！

* S-QUE研究会の研修は、お勧めです。平成29年度は院内のプログラムに関連した内容を全看護師対象のプログラムに取り入れています。自己学習の一つに活用してみてください。

（事前登録必要・個人の使用料無料） 申し込み先：看護部の事務 小沼さんへ